目標達成後の町の姿は

町長 地域活性化の更なる発展も

◆清水由美子　議員

地方圏は、地域づくりの担い手不足という課題に直面している。関係人口増に向けた事業計画、目標値、実績、今後の町の姿を問う。

問　当町における関係人口とは。

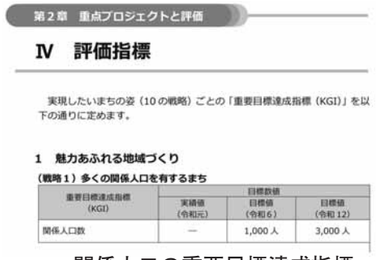
答　当町に深い思い入れがあり、当町の魅力を発信してくれるファン・サポーター。

問　昨年度の実績と本年度の取り組みは。

答　YORO SUPPORTER WORLD事業のサポーター数を関係人口目標値と予定している。単年度の目標値は定めていないが、令和6年度1000人を達成できるよう継続性をもって事業を展開する。

問　関係人口が増えた場合の町のイメージは。

答　関係人口は、増やすこと以上に、本町との関係性の深さ、強さが重要と考える。サポーターの方々に、より町の魅力は育てられ、期待に応えるために磨き上げられる。賑わい・活気が更に人を惹きつける。第2の故郷として選ばれ、地域活性化・地方創生の更なる発展も描ける。



第2章　重点プロジェクトと評価

Ⅳ　評価指標

実現したいまちの姿（10の戦略）ごとの「重要目標達成指標（KGI）」を以下の通りに定めます。

1　魅力あふれる地域づくり

（戦略1）多くの関係人口を有するまち

重要目標達成指標（KGI）	目標数値		
	実績値（令和元）	目標値（令和6）	目標値（令和12）
関係人口数	—	1,000人	3,000人

関係人口の重要目標達成指標

令和４年第３回定例会を９月に開催予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

詳しい日程については、「広報ようろう」９月号と町ホームページでお知らせします。

また、新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底をお願いします。

一般質問の日は車いすの方も議会を傍聴していただけます。

ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

議会ＱＲコード

議会の様子をライブ配信で見ることができます。

養老町議会では、町ホームページまたはＬＩＮＥの公式アカウントより定例会の様子をライブ配信し、議会当日の様子がご覧頂けます。

ＬＩＮＥＱＲコード

通学路の現状と今後は

教育長 関係機関が連携して対策を

◆西脇　康　議員

養老町通学路交通安全プログラムは、３年に一度各校実施している。

問　安全プログラムの実施状況は。

答　今年度は、池辺小、笠郷小、東部中三校の通学路点検を予定しており、緊急性がある箇所には、臨時的に点検を行い対策を講じている。

問　通学路の安全確保については。

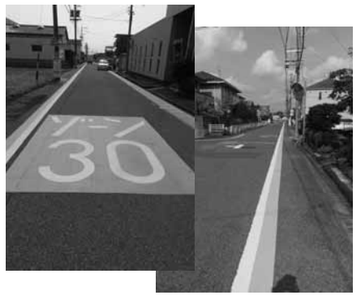
答　地域の皆様や関係機関の連携を密にし、児童生徒の安全確保を図る。

問　通学路の、景観向上の取り組みは。

答　多面的機能支払交付金事業の中で、「きめ細やかな雑草対策」の活動があり、路肩や法面の形状確保、雑草・病害虫の抑制に効果が期待でき、地域の皆様の活動参加をお願いしたい。また、交通安全対策を含めて、視認性の悪い箇所の雑木は町で対応している。

問　ゾーン30やグリーンベルト実施予定は。

答　複数の箇所で施工しており、交通量や、緊急度の高い車道を中心に、地元の皆様・警察と協議対応していく。



ゾーン30とグリーンベルト

官製談合は

町長 再発防止を徹底

近年、公務員の不祥事に対する国民の目や社会の目は非常に厳しくなっている。

問　元職員の逮捕に至った原因は。

答　産業建設部の同じ部署に長い間在籍しており、不適正な事務が発生する環境下であった。

問　調査委員会の実施時期と役割は。

答　委員が決まり次第委員会を開催し、審議を進める。委員会の役割は、事件の原因究明と再発防止の提言をして頂くこと。

問　懲戒免職の場合、退職金は支給されない。町の見解は。

答　事件の判決により確定した刑罰によっては退職手当の返還等を含めた検討を行う。

問　職員の服務規律の徹底を図る研修などは。

答　継続的にコンプライアンス研修を行い、今一度法令順守の模範となるべき自覚を持った職員の育成に取り組む。

養老町役場